

寿とぶきだい

公民館報

優しく思いやり 明るく楽しい町 寿台

令和5年3月1日現在の寿台	
総世帯数	1,319 世帯
総人口	2,667 人
男	1,239 人
女	1,428 人
松本市寿台公民館	
〒399-0021	
松本市寿豊丘649-1	
TEL.	(0263)58-6561
FAX.	(0263)86-7964

各町会の活動

【町内一斉清掃】

一丁目 田中 政喜

年度末3月から、年度明け7月まで、毎月1度町会長衛生の「おはようございます」と流れる放送で、7時から始まる一丁目町内一斉清掃、各組ごにわかれて、住居建屋、周囲の雑草取り、土手の草刈り、側溝の掃除、町内全体清掃にと、高齢者の多い中で大変です。ウイルス、コロナ禍、マスク付けて作業、コミュニケーションが取りづらい中でも、健康など近況報告を話し合っており、終わります。

【今年度を振り返って】

一丁目 古屋 千恵

今年度は、行事を進めて行く方向にシフトしてみました。二丁目は、町会発足50周年という年で、まずは5月に記念式



典を、8月の連合のお祭りに合わせて納涼会とお楽しみ会をし、バーベキューや花火大会などで盛り上がりました。その他、ボウリング大会や新年会、百歳体操なども行う事が出来ました。来年度は、今以上に計画をして実行したいと思います。

【年間の主たる活動】

三丁目 宮下 茂

本年もコロナ禍の影響により活動制限がありました。週1回の「いきいき体操」そして、月1度ですが体操後のお茶会を催し、高齢者の居場所づくりができました。

また、お正月の恒例行事となつている三九郎が育成会主導により開催され、役員手づくりの豚汁で温まり、灰の中から出てくる焼き芋探しを楽しみながら今年度の無病息災を祈念いたしました。

【コロナ禍での活動】

四丁目 小島 英揮

町内で長寿のお祝いと親睦を兼ねて昨年9月に敬老会を計画しましたが、世の中の感染者増加から開催を一度は見送りました。しかし、コロナ禍のストレスを少しでも発散できるようにと若手を中心となり11月

に会を行いました。そして、今年1月には三九郎を行い、子供から大人まで楽しい時間を過ごし、町内全体でコロナ禍に負けずに活動をする事ができました。



【三九郎】

五丁目 鳥羽 雅代

1月14日、三九郎を行いました。朝、子ども達が松を集め、公民館ではまゆ玉を親子で作りました。外では町会の大先輩とやぐらを作り、まゆ玉はさまざまな色や形、子ども達は柳に



たくさん付けていきました。やぐらも無事にでき、夕方の点火を待つのみとなりました。点火は18時。6年生の伊藤くんがたいまつを持ち、そしてやぐらに点火、みんな「ワー」と声が出ました。まゆ玉をみんなで焼いてその場で食べていました。楽しい1日でした。

【東町会消火放水訓練】

東町会 大塚 栄

東町会も高齢化が益々進んでまいりました。この時季、火災で亡くなるニュースがみられます。町内で火災の市の消火施設取扱いを大勢の方に知っていただき、少しでも役にたてば安心と参加者も年々増え、コロナ中で、開栓から放水まで3、4人組になり、全員が全行程を実施されました。七丁目の三宅さんも、自宅前に設備があるので取扱いをおぼえたいとご夫婦で参加されました。



【八丁目の活動】

八丁目 江藤 弘子

八丁目では2回お楽しみ会を開きました。もともと三世代交流会を行っていましたが、子ども世代がいなくなり交流会と名を変え、コロナの影響でお楽しみ会という形になりました。住民の交流を図る場なのに、その距離感が難しい。ここ数年でした。今年もお茶会や敬老会は見送られました。が、お楽しみ会ができて良かったです。



九丁目 加藤 喜代志

1年間、行動制限のある中で、何とか活動してきた町内活動でしたが、防災訓練等、無事に行われましたが、各組で欠席の方も一定数ありました。コロナ禍の影響だけでなく、高齢化による理由や、町会に未加入等の理由もあると思われま

われます。



九丁目では、活動の簡素化、町内活動の周知等の対策を取っています。

は、活動の簡素化、町内活動の周知等の対策を取っています。



後記 編集委員



田中 政喜(二丁目)

初めての役員、公民館側から見た町内は、高齢者の割合が高く、今年もまたコロナ禍、マスクを付けて、健康自己管理をしながら周りの方々の助言を参考にしながら、右往左往自己反省で1年が過ぎようとしています。大きなイベントの一つ、寿台文化祭が催され、運営にかかわった方々に感謝しながら後片付けを手伝うことができました。来年も、大小にかかわらず始まりから終わりまで、事故なく楽しくできる事を願っています。

町内公民館長会会長 古屋 千恵(二丁目)

私が町内公民館長になって4年が過ぎ、その内3年はコロナに悩まされてきました。行事が思うように進められない中、どうしたら開催できるかを毎回役員で話し合いながら、今出来る事を探してきました。やっと、注意をしながら少しずつ進めるようになってきたので、来年度は、全ての行事が開催できるように準備をして行きたいと思っています。

中島 孝子(三丁目)

2年目の公民館長の職が終わろうとしています。やはり、コロナ禍での活動は制約も多く、たいへんなこともありましたが、それでも、「夏祭り」「文化祭」などを縮小してもできたのは、良かったと思います。マスクのない卒業式も話題になっていますが、少しずつコロナ禍前の生活に戻りつつあります。出来ることは協力しながら元の生活になると良いですね。

小島 英揮(四丁目)

館報編集委員は何をすればいいのか最初はとまどいながらでしたが、なんとか1年間行うことができました。振り返ってみるとコロナ禍で中止になった行事もあり、記事の内容としては物足りなさがあったかもしれないと思うと残念な部分

はありますが、読んでもらった方に記事が少しでも分かりやすく伝わっていれば幸いです。今後は、コロナ禍も落ち着き、行事も多く行われることを願っています。

館報編集委員長 鳥羽 雅代(五丁目)

今年で私も2年目になります。コロナでこの2年間あまり活動が出来ませんでした。もう少し何か出来たのではないかと思います。しかしコロナに町会の方達がなつてしまつたらと考えてしまい、踏み出す事ができませんでした。他の町会の方達の話を聞いて、自分が少し考えすぎたのではないかと反省しています。来年はもう少し活発に行事ができるように心がけていきたいと思っています。1年間ありがとうございました。

大塚 栄(東町会)

マレットゴルフは月2回、3月より11月まで例会、会場もテニスコート東近場に参加者も増えました。東寿会は、体育館玄関、トイレ清掃とお茶会、秋にはバス旅行、まつたけ山荘で懇親会と楽しみました。

育成会は松本ほんぽん、ソーメン販売、三九郎は大勢の人が参加されまゆ玉焼きを楽しみました。

館報全市版編集委員 江藤 弘子(八丁目)

寿台公民館報合冊版を見てみると、懐かしい写真が目に残りました。それは平成16年の星空観覧会の時のもので、2人の子どもと一緒に参加していました。とても楽しみにしていたこと、当日天候が悪く室内でお話を聞いたこと、2回目は星座早見盤を使って星空を見上げたことなどが思い出されます。今は成人している娘も当時のことを覚えていて、話に花が咲きました。

コロナ禍で行えなかった公民館活動が復活して、皆さんが楽しい、うれしい気持ちになれるといいなと思います。1年間ありがとうございました。

加藤 喜代志(九丁目)

コロナ禍による様々な行動制限が徐々にではありますが緩和され始めてきた感じがあった1年間で、各町会で活動の判断が難しい選択がせまられていた事と思います。

そんな中、公民館の活動も制限のある中、できる限りの活動を行ってきたと思います。私は初めての町内公民館長でしたが、関係各位のおかげで1年間過ごせました。1年間ありがとうございました。